

遠隔操縦式バックホウ操作訓練を実施しました

～無線操縦式建設機械の技術者養成～

平成26年11月11～13日の3日間、四国技術事務所が防災協定を締結している建設業者等を対象にした「遠隔操縦式バックホウ操作訓練」をおこないました。

この訓練は、遠隔操縦式バックホウの技術者を養成することを目的に平成18年度から行っているもので、今年の訓練には建設業者のオペレータ38名、地整職員3名が参加しました。

当日は、一般社団法人日本建設機械施工協会（建設機械施工技術検定試験実施機関）協力の下、検定試験と同じコース内容を遠隔操縦で訓練しました。

約半日の短い時間でしたが、訓練開始時と終了時では作業時間が3割程度向上するなど、全員が合格点に達し、修了証が交付されました。

今回の訓練で終了者は181名となりました。



訓練用鉄製かご→



約100m離れた車内でバックホウ本体に搭載したカメラの映像のみを頼りに遠隔操縦している状況（1.0m3級バックホウ）

※遠近感を掴むために鉄製かごをバケットで引っかけて移動する練習をおこないました。



約20m離れた車内で目視により遠隔操縦をしている状況（0.45m3級バックホウ）